

**外部評価対象施策
事務事業点検シート**

事務事業点検シート

〔施策〕 防災対策の推進

| | | | |
|-------|-------|--|-----------|
| 施策名 | | 防災対策の推進 | |
| 1 | 事務事業名 | 自主防災組織活動育成事業 | 担当課 交通防災課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>実態は新規結成補助金事業の様である。新規結成も重要であると思う。然し、結成後の支援、指導、育成が適切に行われることが肝要である。</p> <p>そして、自主防災組織が日常的に機能していることが必須である。これが無ければ、結成数の意味は薄い。</p> <p>結成後の支援、育成が適切であれば、新規結成数もおのずから増加すると思う。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>地域の防災活動において、町内会等を基礎単位とする共助の仕組みはたいへん重要な役割を果たします。自主防災組織の結成と維持は、そのための前提整備であり、補助金の支出も当然のことと考えています。ただし、育成事業の主眼が防災組織の結成にあり、維持の面がややおろそかになっているような気がします。その点では、本年度から防災訓練事業と統合したのは、事業目的を明確にするためにたいへんよいことだと思います。</p> <p>結成数が頭打ちになっている状況については、広報等によって市民への意識啓発を引き続き行うことに加え、地域の自主性を損なわない範囲で、行政からの強い働きかけが必要ではないでしょうか。</p> <p>全町内会がなんらかの形で防災組織を形成するためにも、新たな基本計画の策定は喫緊の課題であると認識しています。各地で大規模災害が続出しているだけに、国の法令の改正に合わせていくのではなく、市民の安全・安心を担保するために、その総意を最優先で施策化していく行政姿勢を強く望みます。</p> | |
| 牛島委員 | | <p>目的および期待する効果にある「自主防災組織の結成促進」と「防災知識をみにつけること」は非常に重要なことと思われる。また、守谷市内全てエリアが自主防災組織を結成することを理想と掲げることも高く評価できる。</p> <p>しかしながら、(書類上の問題だけなのかもしれないが)、目的や理想を達成するための取り組みが不明瞭である。補助事業であるために、目的や理想を達成できないと考えているのであれば、どの程度がこの事業の限界であり、目的や理想とのギャップを埋めるために追加的にどのような取り組みがあるとよいのかについても、少なくとも今後の事業の方向性などで提案されるべきと思われる。現時点での貢献度は敢えて【低】とする。</p> | |
| 福田委員 | | もっと行政の働きかけが必要であると思います。 | |
| 松尾委員 | | <p>自主防災組織は防災活動の起点となる重要な組織と思う。支出費用はH27年1,614k円→H29予算2,791と増額傾向だが、結成数は同63団体→66と低迷している。しかし、H33は157団体と大幅増加する結成目標となっている。現状ベースの予算規模ではH33目標団体数達成は難しい。予算増額するか実現可能な目標団体数とし、現実的防災活動が展開できるようにした方が、第三者の施策達成への信頼度向上が図れる。</p> | |

| | | | |
|-------|-------|--|-----------|
| 施策名 | | 防災対策の推進 | |
| 2 | 事務事業名 | 防災訓練事業 | 担当課 交通防災課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>防災組織は 63 団体あり，訓練実施自治会数は 28 である。両者の定義が異なるので比較に困るが，防災組織の半数以上が訓練に参加していないのではないか。</p> <p>防災組織である以上，年に一度の訓練は最低限であるはず。これでは組織が機能しない危険が潜む。</p> <p>何故参加しないのかを問いつつ，全団体参加を目指して抜本的な改善をすべきである。</p> <p>確証があるわけではないが，これでも他の市町村よりも良いのかもしれない。然し，このレベルで満足してほしくない。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>防災活動においては，日常の機器・機材の点検とともに，訓練はたいへん重要なことです。住民の自主防災組織だけでは，そうした個々の活動は不十分ですから，行政からの指導は不可欠なものだと考えています。</p> <p>本年度から自主防災組織活動育成事業と統合したのも，事業の効率化だけでなく，事業目的の達成のためにも適切な判断であると理解しています。</p> <p>ただし，指標としている防災訓練実施回数では意味のある評価はできません。また，地域において確実に防災力が向上していると自己評価されていますが，その根拠を明確にすべきであり，それを指標に盛り込まなくてははいけません。プロとしての矜持には，丁寧な説明が必然的に伴うのではないのでしょうか。</p> | |
| 牛島委員 | | <p>専門的な知識をもった職員が担当していると感じた。他の事業との統合も，おそらく余計な書類業務が減ることになり，大変に良いことと思う。難しいかもしれないが，職員人工数も減少させることができればさらに素晴らしいと思われる。</p> <p>また，「避難行動要支援者支援事業」との連携をもう少し強めたほうが良いように思われる。訓練の効率化，事務的な業務の軽減などが起こりそうな印象をうけた。</p> | |
| 福田委員 | | <p>新しい防災基本計画が出来てからそれに沿ってするべきではないのでしょうか。</p> | |
| 松尾委員 | | <p>H29 年の予算上は項番 (1) 市民の防災意識の向上という基本事業に統合された。避難所までの避難訓練が事業内容だが，H28 年の訓練参加者が 8,203 人と少数に留まっている。市民参加が更にも多くなるよう工夫/啓蒙が必要と思う。</p> | |

| | | | |
|-------|---|-------------|-----------|
| 施策名 | | 防災対策の推進 | |
| 3 | 事務事業名 | 避難所施設整備運営事業 | 担当課 交通防災課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | <p>市独自の避難所や備蓄品については、適切なレベルに達していると思う。</p> <p>然し、こうした官製避難所や備蓄品に加えて、民間の活用が大事と思う。避難所については、工場や大規模商業施設等。備蓄品については、食品工場や商店等。これらと、災害時協力協定を締結する。協力に意欲的な企業もあると思うので、出来るところから協力を取り付け、これを積極的に広報し、拡大してほしい。</p> | | |
| 吉田副会長 | <p>災害時は自助、共助が第一に大切なことですが、それらを超える事態に直面した場合、公助としての避難所の開設は、救助・復旧活動とともに、住民が行政に求める最上位のことだと考えます。避難所については、備蓄品の管理と配置に関し、改善の取り組みを明確に認めることができます。</p> <p>ただし、避難所のあり方がよくわかりません。備蓄品もたいへん重要ですが、避難所そのものの整備や、民間企業との協力やボランティアの受け入れなど、避難所に求められる運営面での対策を見ることができないからです。</p> <p>なお、指標の防災倉庫数と備蓄品更新回数は、管理面での指標であり、避難所の収容人数、食糧品等の提供数など、非難する住民の目線からの整備を成果指標とされるよう望みます。</p> | | |
| 牛島委員 | 整備・維持管理に関する事業であり、評価事業とする優先度は低いと思われる。 | | |
| 福田委員 | 災害時は予想外のことが多く、他所の経験した被災地の話しなどをよく聞くべきだと思う。 | | |
| 松尾委員 | <p>避難所利用人口が市人口の10%という前提で、施設運営計画が策定されている。</p> <p>また、備蓄用食料品も保管スペースや賞味期限等の関係からビスケット1枚/日・一人というように最小限の備蓄になっている。市のみの対応でなく、民間企業とスペース提供/食料品・水提供等緊急時対応の協定を結び、守谷全体での避難所運営が出来るように改善が必要。</p> | | |

| | | | |
|-------|--|----------------|-----------|
| 施策名 | | 防災対策の推進 | |
| 4 | 事務事業名 | 防災システム関係維持管理事業 | 担当課 交通防災課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | <p>情報の収集能力は高まっているものと推測する。 然し市民への伝達能力に不安が残る。 例えば、市民の中に、どのような形で情報が市から伝達されるのかを知らない人が多いのではないか。情報が適切に伝達されるためには、情報の受け手が、その伝達ツールを熟知していることが肝要である。市民に周知させるための努力がもっと必要である。さもないと宝の持ち腐れですよ。</p> | | |
| 吉田副会長 | <p>災害時の情報伝達の重要性は、各地のこれまでの災害事例からも明らかであり、そのための災害情報システムの整備は必要だと考えます。 本年度からMCA無線維持管理事業と統合し、情報システムを一元的に管理していくことは適切な判断だと思います。 ただし、当該事業は維持管理事業にとどまり、指標にある防災関係システム数や保守点検回数は、当委員会での行政評価になじみません。災害時の情報発信をどんな経路で行い、どれだけの市民が受信できるか、つまり、必要な情報が必要な市民に遺漏なく迅速に提供できるかどうかが大変だからです。</p> | | |
| 牛島委員 | 維持管理に関する事業であり、評価事業とする優先度は低いと思われる。 | | |
| 福田委員 | 東日本大震災の経験者は、案外アナログな手段が有効だったと語っている。新しい見直しが必要だと思います。 | | |
| 松尾委員 | <p>守谷市は同報系無線システムを入れていない。市の面積と設置費用（7億円）との関係からとのことだが、それに代わり市所有車を利用した移動系無線方式で災害時に対応する計画としている。 しかし、それだけでは市民への連絡が十分ではなく、地域メール等の手段も災害時連絡に使う計画となっている。だが、その計画情報は市民に周知されているのか不明。災害時連絡を市がどのようにしようとしているのかを積極的に開示して市民の安全を確保する必要がある。</p> | | |

| | | | | |
|-------|-------|---|-----|-------|
| 施策名 | | 防災対策の推進 | | |
| 5 | 事務事業名 | MCA無線維持管理事業 | 担当課 | 交通防災課 |
| 委員名 | | 御意見等 | | |
| 川西会長 | | <p>情報の収集能力は高まっているものと推測する。 然し市民への伝達能力に不安が残る。 例えば、市民の中に、どのような形で情報が市から伝達されるのかを知らない人が多いのではないか。情報が適切に伝達されるためには、情報の受け手が、その伝達ツールを熟知していることが肝要である。市民に周知させるための努力がもっと必要である。さもないと宝の持ち腐れですよ。</p> | | |
| 吉田副会長 | | <p>整備の必要性、類似事業との統合は、防災システム関係維持管理事業と同様であり、指標にある通話試験回数など、当該事業が維持管理事業であるため、当委員会での行政評価になじまないことも同様となります。</p> | | |
| 牛島委員 | | <p>持管理に関する事業であり、評価事業とする優先度は低いと思われる。</p> | | |
| 福田委員 | | | | |
| 松尾委員 | | <p>H29 予算では項番 (4) 防災システム関係維持管理事業に統合された。</p> | | |

| | | | |
|-------|-------|--|-----------|
| 施策名 | | 防災対策の推進 | |
| 6 | 事務事業名 | 避難行動要支援者支援事業 | 担当課 社会福祉課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>重要な事業であると思う。</p> <p>然し、市としての防災行動マニュアルが完成していないために、支援のグランドデザインが明確ではない。自治会と市との役割分担も不明である。この現状では、自治会としても具体的な支援策として取り組みにくいのではないかと。</p> <p>非常に有難い試みであるにも関わらず、これに頼らない人が多くいるのは、実際の効果が薄いと感じているからではないかと。</p> <p>成果指標として重要なのは、この台帳を利用して支援され得る人の数ではないかと。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>避難困難者に対する特別支援は、たいへん重要なことで、そのために対象者を特定し、行政と地域において、要支援者情報を共有することは、実効ある防災行動に欠かすことはできません。</p> <p>ただし、当該事業の現状は、要支援者情報の抽出と提供にとどまり、それをどのように活用していくかについて、具体的な内容や手順が不明であるため、町内会長や民生委員等は取り扱いに困惑しているのではないのでしょうか。</p> <p>実際の避難行動にあたっては、交通防災課が所管する事項かもしれませんが、支援事業であるならば、避難困難者のトータルな支援活動について、地域内と役所内での適切な役割分担と協力関係を明示しなくてはなりません。</p> <p>個々の防災事業の根幹をなす基本計画が改定されないまま、本事業での手段が目的に置き換えられてしまっているような気がします。登録情報提供の不同意者が少なくないのも、以上のような現状を反映しているのかもしれないと。</p> | |
| 牛島委員 | | <p>非常に重要な事業と思われる。また、事業の目的に対する、現時点での事業の進め方は妥当であり、非常に効率的と思われる。</p> <p>しかしながら、事業の目的の理想的な状態を達成するための準備および計画が不明瞭であったため、現時点での貢献度は敢えて【低】とする。交通防災課との意見交換などを行うことでより明確な準備・計画が見えてくるように感じる。交通防災課との話し合いも合わせて考えると、少なくとも防災・避難行動に対する両課間の情報量に差があるように感じた。</p> | |
| 福田委員 | | <p>まさに地域の結びつきを発揮する事業だと思いますが、施策への貢献度となると疑問です。基本計画がはっきりしないまま進めてもどうでしょうか？</p> | |
| 松尾委員 | | <p>避難行動要支援者名簿を市役所の所有情報から作成、自治会等に提供し自治会等の対象者支援に役立てることを目的としているが、寝たきりとか独居等個人情報が含まれ対象者や自治体等の一部で提供授受を拒絶するケースがある。自治会等への提供は対象者氏名/住所等の限定情報とし、公共機関には対象者の広範情報を提供することも検討する等、提供先で提供情報の量/種類を違える工夫をすることも必要と思う。</p> | |

| 施策名 | 防災対策の推進【全般的事項】 |
|-------|--|
| 委員名 | 御意見等 |
| 川西会長 | <p>次の2点を早急に実施していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 防災行動マニュアルを早急に作成し、関連組織（自治会等）と連携すること。 • それに基づき市民用の防災冊子を作成し、市民に配布して広報すること。 |
| 吉田副会長 | |
| 牛島委員 | <p>交通防災課の職員さんが、専門的な知識をもって頑張っていることはよく理解できた。</p> <p>しかし、口頭のやりとりのみの印象なので的外れなのかもしれないが、的外れである可能性を恐れずにあえて申し上げると、「それぞれの事業の根本的な目的は何か？」をやや見失われているように感じた。</p> <p>①市民にとって「何のため」にその事業があるのか？</p> <p>②各事業の優先順位は何か？</p> <p>をより意識されると良いように思う。</p> <p>例えば、法律による義務付けがあるから事業を行うのではなく、すべての国民にとって重要であるから法律による義務付けがなされている、と考えていないのか？法律がなければ行う必要が無いと考えているのか？口頭でのおっしゃり様はそのような考えにもとづいているとの印象を与えるのもであった。そのようにはお考えではないとは思いますが、少なくとも市民(国民)が「主」であり、法律や事業が「従」という視点があるようには感じられなかった（職員が「従」であれとは言っていない。念のため）。</p> <p>財源や人的資源に限りのある中での業務であることは想像に難くないが、市民からのニーズが高い事業であるので、可能な限り早く、目的は達成されなければならない。もし、必要であるならば、交通防災課以外の労働力（市役所職員、民間コンサルへの外注など）も利用する可能性を検討してもよいのではないか。</p> |
| 福田委員 | |
| 松尾委員 | <p>最大課題は地域防災計画策定がまだ出来ていないこと。計画は市HP上で2016.6.23に改訂中と表示されたままの状態。改訂対象の地域防災計画はH19策定のもので、その後の法律改正が続き改訂が遅れているとの説明だった。現状、守谷市には地域防災計画がない状態ではないのか？調べると、つくば市H27.11.20 取手市H29.3.18改訂しており、担当課の法律改正云々という説明はおかしい。</p> <p>計画策定は市民のための策定であり、どこかの時点で法律改正取り込みを止め、まずは計画策定を完成させ市民へ周知徹底を図ることが必要と思う。その後、毎年必要箇所を改訂して常に最新の状態の地域防災計画を市民が把握できるようすることも必要と思う。</p> |

事務事業点検シート

〔施策〕 子育て支援の充実

| | | | |
|-------|-------|---|-----------|
| 施策名 | | 子育て支援の充実 | |
| 1 | 事務事業名 | 民間保育所運営費補助事業 | 担当課 児童福祉課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>規定通りの補助金を支給している事業である。 この補助金支給事業単独では、外部評価の対象外として良いと思う。 なお、保育支援に関する各マネジメントシートの記述からは、保育支援に対する公助の全体像(認可保育所、民間保育所補助、認証保育園等。国や県の支援を含む。)が読み取れない。従って、公助の公平性、金額の妥当性や、市としての方向性が読み取れない。出来るだけこうしたことが読み取れるような記述をすべきであるし、こうしたことが全体として把握できるような形で、事務事業を統合すべきと考える。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>保育施設が不足するなか、民間保育所の質の向上のために、運営費である人件費と研修費の一部を補助することは妥当です。 ただし、補助の結果として、どのような質の向上が図られているかの精査が必要で、当該事項を指標に加えなければなりません。 なお、この事業に実費徴収補足給付事業が付加されていますが、事業内容の括り方が不分明で、事業名どおりに保育施設への補助にとどめたほうが分かりやすくなります。生活保護世帯への給付は、ここ数年、対象世帯がなしという状況からも、市民対象の別の事業で取り扱うことが適切であるように思われます。</p> | |
| 牛島委員 | | <p>マネジメントシートにも書かれている通り、保育所の量的拡大と保育士の確保、そして保育環境の質の向上が本補助事業の成果指標になるべきではないかと思われます。この点はいくつかの事業が関連する問題だと思われますので、解決すべき問題を優先順位に従って列挙し、どの事業で問題を解決するのかを示していただけるとより良かったように思います。 個人的には、「パーマネントで働く女性(≒住民税の高い方)のお子さんを絶対に待機児童にしない」というのが最優先のように思われます。保育所をつくれれば必ず需要を喚起しますので、待機児童ゼロを目標にする必要はないと思います。</p> | |
| 福田委員 | | <p>児童福祉課は項目の定義や範囲を明確に説明できてよくわかりました。</p> | |
| 松尾委員 | | <p>①国の保育士配置最低基準を上回る保育士がいる保育所に対する補助金だが、私立幼稚園にも或いは認証保育園にも種々の形で補助金が支出されている。一度、どれほどの税金が支出されているのか、データを纏めてチェックしたい。 理由：守谷市の子供は、まだ増え補助金規模が大きくなりつつあるのではないかと。市財政に与える影響を常に考える必要があると思う。</p> <p>②実費徴収補足給付事業の実績が H28 ないというのが信じられない。原因を一度チェックしてみる必要があるのではないかと。</p> | |

| | | | |
|-------|--|-----------|-----------|
| 施策名 | | 子育て支援の充実 | |
| 2 | 事務事業名 | 認証保育園委託事業 | 担当課 児童福祉課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | <p>基本的に、一定の基準に則り委託し、コストを負担しているものと推察する。</p> <p>このマネジメントシートの記述からは、保育支援に対する公助の全体像（認可保育所、民間保育所補助、認証保育園等。国や県の支援を含む。）が読み取れない。</p> <p>他の市町村との比較もわからない。従って、公助の公平性、金額の妥当性や、市としての方向性が読み取れない。出来るだけこうしたことが読み取れるような記述をすべきであるし、全体像が周辺の制度と一体として把握できるような形で、事務事業を統合すべきと考える。</p> <p>このマネジメントシートからは公平性、金額の妥当性や市としての方向性が読み取れず、ヒアリングで少し理解は深まったが、疑問が解消には至らず、申し訳ないが、大きな事業費にもかかわらず、自信のある評価は出来なかった。</p> | | |
| 吉田副会長 | <p>特別な支援を必要とする児童は公立保育所、一般の児童は民間の認可保育所に收容するとして、入所できなかった待機児童を解消するために、認証保育園に保育を委託することは、当面は有効な対応であり、保護者の就労を支援する重要な事業の一つとなっています。</p> <p>しかし、認証保育園は緊急避難的な施設であり、本来は認可保育園で吸収すべきものです。しばらくは 200 名前後の需要がある見込みで、今後の人口動態が見きわめにくい点があるにせよ、たとえば、3 歳以上の児童については、認可保育所の定員増を補助金によって確保し、需要が多いものの受入数が限られる 0～2 歳の児童については、育児休業の取得状況の変化を想定しつつ、認証保育園の確保に万全を期するということも考えられます。</p> <p>なお、多額の事業費を要することからすると、所要の受益者負担を回りつつ、経費の拡大を抑える歯止めが必要です。</p> | | |
| 牛島委員 | <p>マネジメントシートにも書かれている通り、保育所の量的拡大と保育士の確保、そして保育環境の質の向上が本委託事業の成果指標になるべきではないかと思われます。この点はいくつかの事業が関連する問題だと思われるので、解決すべき問題を優先順位に従って列挙し、どの事業で問題を解決するのかを示していただけるとより良かったように思います。</p> <p>個人的には、「パーマネントで働く女性（≒住民税の高い方）のお子さんを絶対に待機児童にしない」というのが最優先のように思われます。保育所をつくれれば必ず需要を喚起しますので、待機児童ゼロを目標にする必要はないと思います。</p> | | |
| 福田委員 | この分野はいろいろ問題がでてきやすいのですが、行政側としてしっかり対応を続けて頂きたいと思います。 | | |
| 松尾委員 | 現状事業の活動継続で良い。 | | |

| | | | |
|------------|--------------|---|------------------|
| 施策名 | | 子育て支援の充実 | |
| 3 | 事務事業名 | 守谷駅前親子ふれあいルーム運営管理事業 | 担当課 児童福祉課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | 施設利用者数も多く、子育て世代の負担軽減に貢献しているものと拝察する。 | |
| 吉田副会長 | | <p>駅前の立地と近隣の人口構成から、児童館の設置は適切です。指標にある利用者数はほぼ一定していますが、未就学児と小学生とでは利用状況に違いがあるのではないかと推測されます。もとより小学生を排除する必要はありませんが、利用状況の精査によっては、未就学児とその保護者に特化したサービスを提供する選択肢もありえます。</p> <p>運営を業務委託するのは妥当ですが、委託内容に相談事業が含まれていることからすれば、期間は3年でなく5年が適当のように思われます。さらに言えば、南北の児童センターと同じく、指定管理者にゆだね、事業者の創意工夫を引き出すことが有効ではないかと考えます。運営委員会を立ち上げ、住民本位の運営を目指したことも評価されます。</p> <p>課題としては、保育所送迎ステーションを併設するなど、駅前の好立地に合わせたサービスの提供が強く求められます。</p> | |
| 牛島委員 | | 需要が大きく、価値ある管理事業と思われれます。マネジメントシートにも書かれております通り発展可能性のある事業ですので、引き続き良いアイデアで改善・効率化がなされると良いと思いました。 | |
| 福田委員 | | ヒアリングをしていて、よく状況を把握していると思いました。 | |
| 松尾委員 | | <p>①地域子育て支援センター運営事業と似た活動が含まれる。場所が駅前というのが特徴と思うが、支援センター運営事業に統合したら良い。</p> <p>②小学生もふれあいルームを利用可能（但し、時間帯が決まっている）ということだが、児童クラブ等もあり、活動がダブル。この点からも設置に意味があるのか疑問。</p> <p>データでは、ふれあいルーム利用者数が多いようだが、まずはデータ内容を分析して不要かどうかの判断をしたらどうか。</p> | |

| | | | |
|------------|--------------|--|------------------|
| 施策名 | | 子育て支援の充実 | |
| 4 | 事務事業名 | 地域子育て支援センター運営事業 | 担当課 児童福祉課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | 多様な活動が必要とされる分野と認識する。 その必要性や方向性に沿った活動が適切に行われているものと拝察する。 | |
| 吉田副会長 | | 子育て支援の中心施設とのことですが、利用者数など活動の指標が明示されていないので即断できないものの、講座やイベントの開催回数からすれば、積極的な事業展開がなされているように見受けられます。 守谷駅前親子ふれあいルームと同様に、運営を民間事業者にゆだね、近い将来に指定管理者制度を導入することも、選択肢に加える余地があるように思われます。 | |
| 牛島委員 | | おそらくこちら也需要が大きな事業だと思います。成果指標が、広場や講座の開催回数となっていますが、利用者数などの情報も載せるとより価値が明確になると思います。 育児不安の解消だけでなく付随する様々な効果があると思われれます。例えば、もし可能であるならば、この講座に参加された方のその後の転居状況などがわかると守谷市への定住政策のヒントになるのではないかと思います。 | |
| 福田委員 | | つくば市の子育て支援センターを見学したことがあるのですが、とてもよく運営されていました。シダックスが指定管理者でした。 他の地域ではどういう運営をしているのか参考にしてほしいと思いました。 | |
| 松尾委員 | | 現状活動継続をお願いしたい。 | |

| | | | |
|-------|-------|---|-----------|
| 施策名 | | 子育て支援の充実 | |
| 5 | 事務事業名 | 児童クラブ運営事業 | 担当課 生涯学習課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>この事業は子育て世代の負担軽減に貢献していると思う。コストも児童一人当たり 10 万円/年と低い水準にあり、コストパフォーマンスも良い。学校施設の利用やボランティアの活用の恩恵と思う。こうした有休資源(?)の活用という点は、他の分野でも広く推奨されるべきであり、本質的には素晴らしい事業と認識する。</p> <p>然し、マネジメントシートの記述や、ヒアリング時の答弁などからは、市の側の業務実態の掌握度が低いと感じた。更に業務改善意欲も薄いと感じた。</p> <p>市としては、業者に丸投げして無関心であってはならない。しっかりと事業を把握し、改善していくことが望まれる。そのためには、現場に接し、保護者の要望なども聴取し(アンケートの実施等)つつ、業者を指導し、日々改善に努める必要がある。単なる子守りに止めず、教育という視点を高めてほしい。</p> <p>なお、貢献度評価を3点としたが、これは、制度としての事業自体の評価は非常に高く評価する(5点)が、具体的な市の関与、指導に対する評価は非常に低くせざるを得ない(1点)ので、中間(3点)を採用したもの。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>小学校の特に低学年の子どもをもつ共働き家庭に、児童の安全な居場所を提供することは、とりわけ母親の就労を後押しするうえで、たいへん重要な事業です。</p> <p>そもそも保護者等の就労支援が本旨ですから、生涯学習課による子どもたちへの教育支援は必ずしも整合するものではないのですが、学校という場、補助金の関係からすれば、未就学児を対象とする児童福祉課との住み分けは、やむを得ないのかもしれませんが。</p> <p>もっとも、事業を業務委託しているにもかかわらず、担当課による実態把握、自己評価はきわめて不十分です。</p> <p>指標について、保育活動の面(総保育時間数など)を加味するとともに、対象児童数に占める登録児童数の比率など、事業の位置づけが明確となるような数値が必要です。</p> | |
| 牛島委員 | | <p>若い世帯の多い守谷市にとって重要な事業と思われる。</p> <p>ただ、マネジメントシートを拝見した限り保育サービスの提供事業にも関わらずと安全な居場所の確保以上の情報がない。提供されている「保育サービス」についても記述したほうがよい。</p> <p>また、マネジメントシートの書き方の問題かもしれないが、成果の動向において「民間委託により、支援員の確保や各クラブの現場でのきめ細かい指導ができることになったことから、前年に比べ成果は向上している」とあるが、この記述はおかしい。民間委託が前年だったかのように読めるし、保育サービスの説明がない</p> | |

| | |
|------|---|
| | <p>ため成果が向上している証拠はない。もちろん、支援員の人数は質の代理情報かもしれないが、保育サービスの内容を知らなければ評価できない。</p> <p>せつかく予算・人工数を大きくかけている事業なのだから、しっかりと説明されたほうが良い。</p> |
| 福田委員 | <p>業務委託しているとはいえ、状況の把握ができていないと思いました。</p> <p>申し訳ないのですが、向き合っていない印象があります。</p> <p>報告の仕方のせいもあるかもしれませんが、居場所づくりのためというのわかりますが、居場所だけで良いのかという話しになると思います。</p> |
| 松尾委員 | <p>①施策事業：放課後子ども教室の活動とダブル部分がある。受益者負担金の違いや事業への補助金の出どころが違うという面があるが、外部委託業者アクティオへの支払い軽減等税負担軽減へ向け子供居場所創生事業という概念で児童クラブ運営事業と放課後子ども教室事業とを統合したら良い。</p> <p>②資料に成果数値が記入されているが、担当部署の理解が不足している。委託業者に全て一任しているのではないかとの印象を受ける。管理者として月一度の委託者との打ち合わせだけでなく、どのような活動をしているのか。チェックして貰いたい。</p> |

| | | | |
|-------|-------|--|-----------|
| 施策名 | | 子育て支援の充実 | |
| 6 | 事務事業名 | 放課後子ども教室事業 | 担当課 生涯学習課 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>この事業は子育て世代の負担軽減に貢献していると思う。コストも児童一人当たり 10 万円/年と低い水準にあり、コストパフォーマンスも良い。学校施設の利用やボランティアの活用の恩恵と思う。こうした有休資源(?)の活用という点は、他の分野でも広く推奨されるべきであり、本質的には素晴らしい事業と認識する。</p> <p>然し、マネジメントシートの記述や、ヒアリング時の答弁などからは、市の側の業務実態の掌握度が低いと感じた。更に業務改善意欲も薄いと感じた。</p> <p>市としては、業者に丸投げして無関心であってはならない。しっかりと事業を把握し、改善していくことが望まれる。そのためには、現場に接し、保護者の要望なども聴取し(アンケートの実施等)つつ、業者を指導し、日々改善に努める必要がある。単なる子守りに止めず、教育という視点を高めてほしい。</p> <p>評価において貢献度評価を3点としたが、これは、制度としての事業自体は非常に高く評価する(5点)が、具体的な市の関与、指導に対する評価は非常に低くせざるを得ない(1点)ので、中間(3点)を採用したもの。</p> <p>なお、無料日を廃止すれば、そのコストが浮くはずである。然し、事業費が削減されてもおらず、その浮いた経費はどこに行くのか。マネジメントシートの今後の方向性の欄では【無料日の廃止を周知させる】と記しているのみである。本欄では、このような当然の事務を記載するだけでなく、浮いた費用をいかに児童のために有効活用するのか、その方向性などを記すべきである。こちらの方が大事である。廃止のみを掲げ、経費も削減せず、改善へ向けた記述が欠けているが、この姿勢に大きな不安を覚える。</p> <p>また、正職員人件費も無視できない。平成28年度の正職員人工数が、児童クラブで2,145時間、放課後子ども教室で526時間と記載されている。軽減できる事務作業はないか、大切な業務は一体何なのか、業務内容をしっかりと見直していただきたい。有能な市職員の大事な時間が浪費されないように望む。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>他の児童センターや公民館等における子ども対象の事業との区別が、活動内容において明確ではありません。</p> <p>児童クラブ運営事業との連携はよいことですが、実際はその付随的な事業のようにも映じます。</p> <p>活動メニューが利用者の選択式ではなく、事業者の一括提供式で月額2,000円の参加費を徴収するのであれば、その内容と方法において、生涯学習課が担当する他事業との差異を強調すべきだと考えます。さらに言えば、地域ボランティアの活用によって、市の直営または民間施設とは違ったメニューの提供が可能であるとも思われます。</p> | |

| | |
|------|--|
| | <p>無料日のみの参加者が多く，登録者数も停滞しているなかで，改善への姿勢が稀薄であるように感じられます。参加者等の実態把握や，潜在的利用者も含めた市民の意向を聴取するなど，当該事業を実施する意味を再考する必要があります。</p> |
| 牛島委員 | <p>若い世帯の多い守谷市にとって重要な事業と思われる。 ただし，こちらも児童クラブ運営事業と同様にマネジメントシート の書き方が雑である。提供されている保育サービスの情報がな いため，児童クラブ運営事業との違いが不明瞭となっている。従 って，貢献度を評価できない。</p> |
| 福田委員 | <p>子ども教室という言葉が空回りしていて，何かを学ぶ場所にはな っていないと思います。もっと，その時間を有効に活用する方向 で考えて頂きたい。</p> |
| 松尾委員 | <p>施策事業：児童クラブ運営事業の活動とダブル部分がある。受益 者負担金の違いや事業への補助金の出どころが違うという面が あるが，外部委託業者アクトィオへの支払い軽減等税負担軽減へ 向け子供居場所創生事業という概念で児童クラブ運営事業と放 課後子ども教室事業とを統合したら良い。</p> |

事務事業点検シート

【施策】 学校教育の充実

| | | | |
|-------|-------|--|---------|
| 施策名 | | 学校教育の充実 | |
| 1 | 事務事業名 | 総合教育支援センター事業 | 担当課 指導室 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | 地道に着実に実行すべき事業であると思う。 その目的通りに適切に実施されていると思う。 | |
| 吉田副会長 | | 問題を抱える児童生徒に対し、第一次的な相談に応じる体制の構築と運用は、教育委員会のきわめて大切な事業です。 学習障害をはじめ、社会的な認知が広まりつつある発達障害に対し、それへの支援を必要とする子どもたちが増加（顕在化）しているなか、本人、保護者、教員への早急な手助けが必要であることは言うまでもありません。 専門機関や医療機関との連携も含め、行政が寄り添う姿勢をどのように市民に知らせていくかが重要になります。 | |
| 牛島委員 | | 不登校はその人の勉強時間が大きく失われるという意味においても大変に重要な問題です。小児心理学などの専門的な訓練を受けたスタッフが対応されているという話でしたので、可能な限りの対応がなされているのだろうという印象を受けました。専門家としてではなく個人的な意見なのですが、不登校であることやADHDなどの発達障害であることは義務教育における本質的な問題ではないと思います。教育の役割として、もっとも重要なことは各人の個性を社会で最大限発揮できるようにすることだと私は考えておりますので、不登校やADHDなどであっても自分の時間を有意義使えるような成果を目標とされるとより良いと思いました。例えば、保健室登校であっても、不登校であっても勉強する時間があるなら、大きな問題ではないと思います。 | |
| 福田委員 | | センターが出来たことは評価したいと思いますが、これからだと思っています。 | |
| 松尾委員 | | 現状活動継続をお願いしたい。 | |

| | | | |
|-------|-------|--|---------|
| 施策名 | | 学校教育の充実 | |
| 2 | 事務事業名 | 保幼小中高一貫教育推進事業 | 担当課 指導室 |
| 委員名 | | 御意見等 | |
| 川西会長 | | <p>一貫教育という言葉は、多様性や重層性との対比において、適切な表現であるかについては、異論のあるところと思う。</p> <p>然し、保幼小中高の関係者が連携して、子供たちの幼児期からの成長を、一人一人をよく理解し、長期的な視点で継続して、重要な部分で欠けることのないように、また、適切な順序で、支援していくという趣旨であれば、一貫教育は必要であるし効果的であると思う。</p> <p>子供たちの個性の違いを尊重しつつ、多様性、重層性を包含しつつ、長期的な視点での連携教育を実施してほしい。</p> <p>なお、児童、生徒の学業成績等各種の指標から、成果も得られていると拝察する。</p> | |
| 吉田副会長 | | <p>校種の異なる学校を繋げることで、一人ひとりの子どもたちの発達過程において、さまざまな校種間のギャップや教育的不効率から脱するための試みであり、守谷市の特色ある事業であると高く評価できます。</p> <p>その成果は子どもたちに還元されなければなりません、大事なことは、地域のさまざまな学校の教員が、所属する学校からの視点だけでなく、個々の子どもたちの学校生活を通底する教育プログラムに参加し、個々の教員の指導力の向上と多様な教育の場の提供が、豊かな学校教育の基盤になるということです。</p> <p>教育そのものが長いスパンで評価されるものですし、中学から私学、高校は他市というように、守谷市の学校教育はそもそも自己完結型ではなく、保護者の教育歴や経済力も高いという地域的特性もあります。評価の指標、期間、公表については考慮すべき点が多々ありますが、地域と教育の良き関係を維持発展させるためには、成果の発信は慎重を期しつつも積極的であることが望まれます。</p> | |
| 牛島委員 | | <p>施策への貢献度および事業の必要度は「不明」とさせていただきます。</p> <p>成果目標が不明のため、なぜこの事業が必要なのがわかりませんでした。また、少なくとも成果指標を見る限り効果的であるとは見て取れません。素晴らしい事業の可能性はあると思いますので、是非、効果を示して頂けたらと思います。</p> <p>ただ、個人的な感想なのですが「学びのプラン」を詳しく拝見しましたが、自分の子供を守谷の公立学校には通わせたくない、と率直に感じました。理由は、軍隊の規律のように見える箇所があるためです。例えば、守谷しぐさは、本来、内発的に生じる道徳心に基づく行動内容が多く、義務教育として教えるべき内容であるかどうか強い疑問を感じます。「奉仕の気持ちを持って」「下学年の手本となるように」「友達や、目上の人に」なども、そも</p> | |

| | |
|------|---|
| | <p>そも教育するものなのか疑問ですし、目標として列挙すると本来の目標よりも小さなものに見えます。つくば市にも規律の強い保育園があるのですが、そこを避ける親は少なからずいます。個性を潰すような教育ではないのか？という心配です。教育現場が必ずしもそのような状況ではないと思われまので、各項目を詳しく書きすぎない方が良くはないかと思いました。</p> |
| 福田委員 | <p>委員会の中でも指摘しましたが、中学校のレベルの高さがそのまま高校に繋がっていない問題はなかなか難しい実情だと思います。</p> |
| 松尾委員 | <p>現状活動継続をお願いしたい。</p> |